

科目名	解剖生理学 I (運動器系) ①			授業の種類	講義	必修・選択		必修
授業回数	30 回	時間数	60 時間	4 単位	配当学年時期	1年	通年	
【授業の目的・ねらい】 人体の正常な形態と構造について学び、生理学や疾患の理解に必要な解剖学的知識を修得する。								
【実務者経験】								
【授業全体の内容の概要】 講義に加えて、スケッチや骨標本などを用いたイメージ作り、触診などの実技を随時加えながら行う。								
【授業終了時の達成課題 (到達目標)】 筋骨格系の名称から構造と機能が具体的にイメージでき、説明が出来る。								
回数	講義内容						準備物(教材)	
1	オリエンテーション、運動に関わる用語						プリント資料	
2	骨学概論 (人体の全体構造としての骨を理解する)						プリント資料	
3	肩甲骨、上腕骨						プリント資料	
4	前腕骨、手根骨、手指骨						プリント資料	
5	脊柱の骨 (頸椎、胸椎)						プリント資料	
6	脊柱の骨 (腰椎、仙骨、尾骨)、肋骨、胸骨、鎖骨						プリント資料	
7	寛骨、大腿骨、膝蓋骨						プリント資料	
8	下腿骨、足根骨、足趾骨						プリント資料	
9	頭蓋骨、1～9のまとめ						プリント資料	
10	骨の構造、骨の種類						プリント資料	
11	骨生理 (骨はどのように作られるのか)						プリント資料	
12	関節の構造						プリント資料	
13	関節の種類						プリント資料	
14	関節概論 (人体の各関節について)						プリント資料	
15	関節生理 (関節はどのような機能があるか)、総まとめ						プリント資料	
定期筆記試験								
【使用教科書・教材・参考書】 ・標準理学療法学作業療法学 解剖学 ・基礎運動学 ・プロメテウス 運動器 ・プロメテウスコアアトラス								
【準備学習・時間外学習】 小テストを毎回実施する。 復習を必ず行い小テスト対策を実施すること。								
【単位認定の方法及び基準 (試験やレポート評価基準など)】								
試験の結果を100点満点として成績を評価する 小テストを20点、定期試験を80点として合計100点とする 60点以上の場合に科目を認定する								